

数学科シラバス（第2学年）

指導の方針

○基礎的・基本的な知識及び技能の習得をめざして

- ・毎週の復習プリント、小テストにより、計算力の向上、基礎基本の定着を目指します。
- ・問題演習の時間を多くとり、自力解決できるようにします。

○思考力・判断力・表現力その他の能力の育成をめざして

- ・式、表、グラフなどの様々な表現様式を用いて、事象の変化の様子や特徴を捉え、思考力・判断力・表現力を育成します。

○学習意欲の向上や学習習慣の確立をめざして

- ・問題集やノート、振り返りシートを定期的に評価し、学習習慣の定着を図ります。
- ・ICTを活用し、指導の工夫を図り、意欲を向上させます。
- ・4人班での話し合い活動を積極的に取入れ、理解を深める時間を設けます。

評価の観点と評価規準

評価の観点	評価規準	評価の資料
主体的に学習に取り組む態度	A：授業に主体的に参加し、提出物を期限内に提出し、その取り組みも優れている。また自己の学習を振り返り、根気強く学習に取り組むとともに、より良く学習をすすめることができる。 B：授業に意欲的に参加し、提出物を期限内に提出することができる。また、自己の学習を振り返り、工夫して学習を進めることができる。 C：授業に積極的に参加していない又は提出物をしっかりと取り組めていない。学習の振り返りもはできているが、改善が不十分である。	授業態度 ワーク・ノート 小テスト、復習プリント 単元ごとの振り返りシート
数学的な思考・判断・表現	A：数学的な見方や考え方が十分に身につけており、根拠に基づいて説明し表現することができる。 B：数学的な見方や考え方が身につけている。考え方を表現できる。 C：数学的な見方や考え方が身につけているが、努力を要する。	授業中の発表・取り組み テストの得点 小テストの得点 解き方の工夫
数学的な知識・技能	A：知識を用いて数学的な表現や処理を行い、活用することが出来る。 B：数学的な表現や処理の仕方が身につけている。知識を備えている。 C：数学的な表現方法や処理の仕方が身につけているが、努力を要する。	授業中の発表・取り組み テストの得点 テスト直し 説明力 （解き直しレポート）

各観点の達成状況 A 85%以上 B 45%以上 C 45%未満

原則、上に定めた基準で評価します。達成状況によっては基準が下がる場合があります。

評価と評定の関連

※評定（5段階）は、各観点の評価（A^{マル}O=5点、A=4点、B=3点、C^{マル}O=2点、C=1点）をもとに算出します。評価と評定の関連は、下表（例）のとおりです。

各観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	三観点の組合せ	合計点数	評定
A ^{マル} O A ^{マル} O A ^{マル} O	15点	A ^{マル} O A ^{マル} O A	14点			5
A ^{マル} O A A	13点	A A A	12点	A ^{マル} O B B	11点	4
A B B	10点	B B B	9点	B B C ^{マル} O	8点	3
B C ^{マル} O C ^{マル} O	7点	C ^{マル} O C ^{マル} O C ^{マル} O	6点	C ^{マル} O C ^{マル} O C	5点	2
C ^{マル} O C C	4点	C C C	3点			1

学習内容と評価のめあて

月	学習内容	指導のめあて
4	1章 式の計算 ・ 式の計算 ・ 多項式の計算、単項式の乗除	単項式と多項式の意味を理解し、乗法、除法の計算ができるようにする。
5	1章 式の計算 ・ 式の値 ・ 文字式の利用 ・ 式による説明、等式の変形	・ 文字式を用いて、関係や法則を一般的に表現したり、等式の性質を用いて目的に応じて変形できるようにする。
6	2章 連立方程式 ・ 連立方程式とその解き方 ・ 連立方程式とその解 ・ いろいろな連立方程式	・ 連立2元1次方程式とその解の意味を理解し、加減法、代入法によって連立方程式を解けるようにする。 ・ 複雑な形の連立方程式の解法が理解できるようにする。
7	・ 連立方程式の利用	・ 問題解決のために連立方程式を活用することができるようにする。
8	3章 一次関数 ・ 一次関数の意味、値の変化 ・ 一次関数のグラフ ・ 一次関数を求めること	・ 1次関数 $y = ax + b$ の関数関係を理解し、グラフを書けるようにする。 ・ 1次関数における変域を理解させ、いろいろな条件を満たす1次関数を求めることができるようにする。
9		
10	・ 一次関数と方程式 ・ 二元一次方程式のグラフ ・ 連立方程式とグラフ	・ 関数のグラフを利用して、連立方程式が解けたり、その逆ができるようにする。
11	4章 平行と合同 ・ 平行線と角 ・ 多角形の内角と外角 ・ 平行線と角	・ 多角形の内角、外角や平行線の性質を理解し、それを利用できるようにする。
12	・ 合同な図形 ・ 三角形の合同条件 ・ 証明の進め方 5章 三角形と四角形 ・ 三角形 ・ 二等辺三角形の性質	・ 合同な図形の性質と三角形の合同条件を理解し、合同条件を使って、簡単な証明ができるようにする。
1	・ 二等辺三角形になるための条件、直角三角形の合同 ・ 平行四辺形 ・ 平行四辺形の性質	・ 二等辺三角形の性質を理解し、二等辺三角形になるための条件を利用して、証明できるようにする。 ・ 直角三角形の合同の証明ができるようになる。 ・ 平行四辺形の性質を理解できるようにする。
2	・ 平行四辺形になるための条件 ・ 特別な平行四辺形 ・ 平行線と面積 6章 確率 ・ 確率 ・ 確率の考え ・ 確率の求め方	・ 平行四辺形になるための条件を理解し、それを用いることができるようにする。 ・ 長方形、ひし形、正方形の定義を知り、特別な場合と見ることができるようになる。 ・ 面積を変えないで、図形の形を変えることができるようにする。 ・ 確率の意味を理解し、いろいろな場面において、確率を求められるようにする。
3	・ いろいろな確率 7章 データの比較 ・ 四分位範囲と箱ひげ図	・ 複数の資料について、四分位数を求め、箱ひげ図を表すことで、資料の比較を行うことができるようにする。